

令和2年度 北広島ブロックの研究

研究主題

子どもの心によりそった保健室をめざして ～保健室の執務を考える～

主題設定の理由

私たち養護教諭は、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、一人ひとりによりそいながら日々執務にあたっている。保健室での執務内容は多岐にわたるが、子どもから相談を受ける機会も多く、また、子どもの心身の健康課題に気がつく場面もある。

しかし、多くの養護教諭は各校一人であるため、自身の対応が適切か迷う場面があったり、時には失敗したりすることもある。そのため、各校の事例や実践、アイデアを交流することで、執務をあらためて見直したいと考えこの主題を設定した。

また、健康課題把握の一助となる健康診断についても、今年度からの感染予防の観点も含めた実践を交流しながら、今後の効果的な執務運営につなげていきたい。

研究の仮説

1. それぞれの執務をふり返ることで、課題を明確にすることができる。
2. 各校の実践を交流することで、私たちの養護教諭としての実践力を高め、研究主題に迫ることができる。

研究の内容

1. 相談活動と健康診断の2グループに分かれ、それぞれの執務をふり返り、工夫や改善点等をまとめる。
2. グループ内で交流し、工夫の共有や改善策の検討を行い、全体でも交流する。

研究の方法

1. グループ交流や全体交流を行う。
2. 理論実技研修を行う。